

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和3年11月4日(2021.11.4)

【公開番号】特開2020-58649(P2020-58649A)
【公開日】令和2年4月16日(2020.4.16)
【年通号数】公開・登録公報2020-015
【出願番号】特願2018-192533(P2018-192533)
【国際特許分類】

A 6 1 B 8/14 (2006.01)

【FI】

A 6 1 B 8/14

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月22日(2021.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

超音波が互いに干渉するようにマトリクス状に配置された複数の振動子と、前記複数の振動子のそれぞれと受信回路を介して接続されるメモリ回路と、前記メモリ回路からデータを読み出して画像処理を行う画像処理回路と、前記画像処理回路から出力される情報を表示する表示部と、を有し、前記振動子の間隔は、前記超音波の波長の1周期分の距離と等しく、前記メモリ回路は、酸化物半導体を有するトランジスタと、前記トランジスタと電氣的に接続する容量と、を有する超音波診断装置。

【請求項2】

超音波の1周期分の間隔で配置された2個以上の振動子を有するプローブと、前記2個以上の振動子のそれぞれと受信回路を介して接続される複数のメモリ回路と、を有し、
前記振動子で受信した前記超音波はアナログデータであり、その前記アナログデータを前記振動子と対応する前記メモリ回路に保持し、前記メモリ回路は、酸化物半導体を有するトランジスタと、前記トランジスタと電氣的に接続する容量と、を有する超音波診断装置。

【請求項3】

請求項2において、
前記2個以上の振動子のうち、一つの前記振動子から出力される電圧を時間毎に区切って複数のメモリ回路にアナログデータを保持する超音波診断装置。